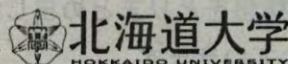


PRESS RELEASE (2010/01/22)



北海道大学総務部広報課
〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目
TEL 011-706-2610 FAX 011-706-4870
E-mail: kouhou@jimuhokudai.ac.jp
URL: <http://www.hokudai.ac.jp>



帯広畜産大学

帯広畜産大学企画総務部総務課
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
TEL 0155-49-5228 FAX 0155-49-5229
E-mail: kouhou@obihiro.ac.jp
URL: <http://www.obihiro.ac.jp>

北大と帯畜大が獣医学共同教育課程の実施準備に着手

—国内初の大学連名による学士（獣医学）の授与—

下記のとおりお知らせしますので、取材等をお願い申し上げます。

共同記者会見

日時：平成22年1月25日（月）16:00～

場所：北海道大学事務局特別会議室（札幌市北区8条西5丁目）

出席者：北海道大学

総長 佐伯 浩（さえき ひろし）
理事・副学長 林 忠行（はやし ただゆき）
獣医学部長 伊藤 茂男（いとう しげお）

帯広畜産大学

学長 長澤 秀行（ながさわ ひでゆき）
副学長 牧野 壮一（まきの そういち）
畜産衛生学研究部門教授 倉園 久生（くらぞの ひさお）

① 教養 46
② 専攻 2-5.5
コアカリ中心
③ 7/20 5~6月

概要：

北海道大学と帯広畜産大学は、獣医学教育・獣医師に求められている社会的要請に対応した国際水準の教育を実践するため、両大学共通の教育カリキュラムを編成し、卒業者には両大学長の連名による学位を授与する「獣医学共同教育課程」の実施構想をとりまとめました。今後、平成24年4月の開始に向けて、具体の準備を進めていきます。

経緯：

近年の食の安全に対する関心の高まり、飼育動物の疫病多様化、国境を越えた動物由来感染症への対応や農林水産物・食品の輸出入の拡大など防疫需要の増大に対応しうる国際性を備えた人材の養成は、獣医学教育の課題となっています。獣医学教育を巡る世界の動向（国際獣疫事務局（OIE）の提言等）は、特にヒト及び動物の感染症制御、公衆衛生の充実、動物の適正管理と福祉、食の安全と安定供給を重視しており、世界共通の獣医学教育の確立が提起されています。

このため、北海道大学と帯広畜産大学は、それぞれ有する優位な教育資源を結集して、これまで一大学だけでは成しえなかった国際水準の獣医学教育課程を編成することについて検討をかさね、このたび、「獣医学共同教育課程」の実施構想をとりまとめました。今後、平成24年4月の開始に向けて、本構想に基づき具体の準備を進めていきます。

教育課程の共同実施制度は、平成21年3月に施行された「大学設置基準等の一部を改正する省令」（平成20年文部科学省令第35号）により、複数の大学が相互に教育研究資源を有効に活用する「共同教育課程」の編成を可能とされたものです。大学院ではすでに実施されている例がありますが、共同で学士の学位を授与する取組としては、先駆的なものです。

なお、両大学は、平成22年度から平成27年度までの第二期中期目標・中期計画の案を文部科学大臣に提出するにあたり、「獣医学教育を充実させるため共同教育課程を実施する」ことを掲げています。

共同教育課程の内容：

この課程は、両大学が提供する共通の講義・演習・実習の科目を履修させ、共通の人材育成目標のもとで国際的に通用する獣医師の養成を行い、卒業生には両大学長の連名による学位を授与するものです。学生と教員は、必要に応じて両大学のキャンパスを往来し、また、インターネットによるテレビ講義・演習により授業が行われます。学生の入学定員は、北海道大学獣医学部獣医学科40人と帯広畜産大学畜産学部獣医学課程は40人で、入学試験はそれぞれの大学で実施することを計画しています。

共同教育課程の実施：平成24年4月の開始を予定しています。（学生募集は、平成23年度内）

お問い合わせ先

北海道大学企画部企画調整課 勝山・池田

TEL: 011-706-3210・2008 FAX: 011-706-2193 E-mail: tikedajimu.hokudai.ac.jp

帯広畜産大学企画総務部企画課 野並・小田

TEL: 0155-49-5300・5301 FAX: 0155-49-5229 E-mail: kikakuka@obihiro.ac.jp

獣医師育成共同で

12年度、課程導入 「世界で活躍を」

北大と帯畜大

北海道大と帯畜大は25日、大学の学士課程で、講義や動物を扱った臨床実習などを共同で行う「共同獣医学課程」（仮称）を2012年度から導入すると発表した。国際的な水準を満たす獣医師の育成が狙い。両大学が記者会見して明らかにした。大学で共同教育課程を設けるのは全国で初めての試みという。

共同教育課程は、北大獣医学部と帯畜大畜産大畜産学部（仮称）に設けられる。国境を越えた動物由来の感染症が拡大し、食の安全に対する人々の関心が高まる中、総合大学として一般教養科目が充実している北大と、牛などの家畜、大型動物を扱う授業が多彩な帯畜大の利点を生かし、世界を舞台に活躍する獣医師を養成する。

12年度から入学する学生が対象で、インターネットやテレビ会議の中継で講義

を受けたり、お互いの大学を歩き来して実習を受けられるようにしたりして、大

学間でカリキュラムを共有する。6年間の課程修了後には、両大学長連名の学位が授与されるという。

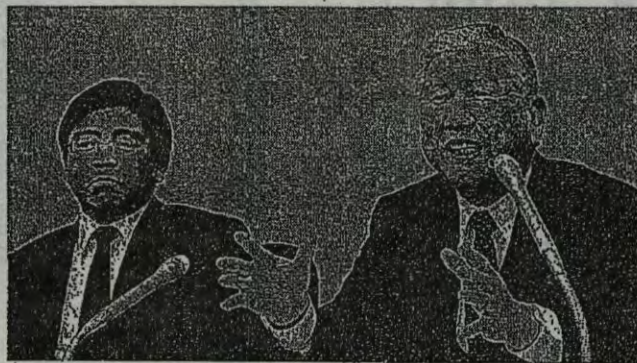
記者会見で、長沢秀行帯畜大畜産大学長は「一つの大学単独で世界に通用する獣医師を養成するには、カリキュラムが不十分になってきている。両大学の特色を生かしながら、充実を図っていく」と狙いを話した。

新聞 朝刊
2012年1月26日
34面

北海道新聞 22年1月26日(朝刊) 26面

世界を見据えた獣医師養成

共同課程導入 北大、帯畜大 大学長が会見



世界水準の獣医師の養成を目指す北大の佐伯学長（右）と帯畜大の長沢学長

て、獣医師資格の取得だけでなく、鳥インフルエンザなど人獣共通の世界規模の感染症対策に対応する人材育成に力を入れる方針を示した。

会見で、長沢学長は「現在は病原体が瞬時に世界に広がる。動物を診療、治療するだけでなく、地球規模で防疫や食品衛生などの公衆衛生を考えられる獣医師の養成が急務」と力説。佐伯学長は「帯畜

大の広大な環境では、北大が弱い大型動物の実習ができ、教育や研究分野の幅が広がる」と共同課程の利点を説明した。

また、共同課程導入により、帯畜大畜産学部と北大獣医学部を合わせた教員数は外国の獣医学部並みの80人になると強調。野生動物生態学や公衆衛生学の専門コースも設ける方針だ。

同課程は、12年度に入学した両大の学生全員が共通の教育課程を履修。講義や実習で学生と教員が交流するほか、インターネットを使ったテレビ講義も行う。

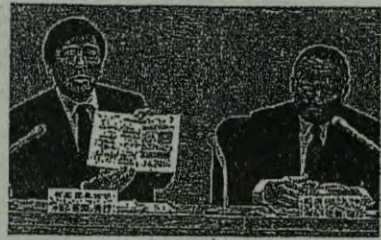
北大の佐伯学長と帯畜大の長沢学長が記者会見し、2012年度から導入する共同課程について話した。

北大・帯畜大

獣医学課程を統合

12年度から 高度な人材を育成

北海道大学（札幌市、成のため両校が設けてい
左伯浩学長と帯畜大畜産
大学（帯広市、長沢秀行
学長）は25日、獣医師養
2年度から共通化すると
発表し、大学を越えて
学士課程のカリキュラム
を統合するのは全国で初
めて。



「食の安全」や動物を
介した感染症の予防など
獣医が果たすべき役割は
～～～
会見した佐伯浩・北大学長
①と長沢秀行・帯畜大学長
(26日、札幌市)

する。
獣医育成の専門コース
を持つ両校だが、「帯畜
なら（牛など）大きな動
物の実習がしやすい」佐
伯・北大学長、「北大
は小動物の臨床教育が進
んでいる」（長沢・帯畜
大学長）など、強みは異
なる。教育資源を共有す
ることで、専門性と実践
を合わせた教育ができる
とみている。

経済のグローバル化が
進むにつれ、病原体や感
染症も国境を越えて広が
りやすくなっており、防
疫などの知識も獣医に求
められている。治療技術
に重点を置いてきた従来
の獣医学教育では社会が
必要とする人材を育てら
れないとの危機感が提議
を後押しした。

獣医学で共同教育課程導入へ

北大と帯畜大が合意

北海道大と帯畜大畜産
大は2012年度か
ら、獣医学教育で共同
教育課程を導入するこ
とで合意した。世界水
準の獣医学教育の態勢
づくりが狙いで、学部
レベルで共同教育課程
に合意したのは全国で
初めてという。

医学課程にそれぞれ入
学。両大学で開講する
科目を行き来しながら
受講したり、インター
ネットを利用したテレ
ビ講義などで学ぶ。卒
業証書は両大学連名で
授与する。

取得に必要な6年間の
修学年限のすべてが対
象。動物を通じた感染
症への対応や食の安全
安心対策、動物福祉・
愛護の充実など、新た
に求められている獣医
学教育の課題に即した
教育カリキュラムを共
同で行う。具体的には
今後、詰めていく。

記者会見した帯畜大
【千々部一好】

北大・帯畜大 共通の講義や実習

北海道大学と帯畜大畜産大学は25
日、獣医学の学部教育を2012
年度から共同で実施すると発表し
た。両大学共通の講義や実習を履
修できるようになり、卒業生には
両大学の学長の連名で獣医学士の
卒業証書が授与される。どちらの
大学に入学してもそれぞれの得意
分野を学べることで、世界的な視
野を持った獣医師を育てるのが狙
い。大学が連名で学士を授与する
のは全国で初めてという。

獣医師育成 共同で

対象となるのは、北大の獣医学
部と帯畜大の畜産学部獣医学課程
の学部生で、定員は1学年それぞ
れ40人。

記者会見した佐伯浩・北大総長
や長沢秀行・帯畜大学長による
と、感染症や食の安全など獣医学
分野が担う課題はますます地球規

12年度から 卒業証書は両学長連名

模化しており、対応できる獣医師
を育てるため、全国に先駆けて協
力する。国内の獣医学教育は欧米
諸国に比べて獣医学と畜産学の連
携が十分でなく、教員数も少ない
など世界水準には遠いという。畜
産が盛んな道内では公務員の獣医
師の役割が重要だが、なり手が少
ないという課題もある。

北大は大都市にあって小動物の
研究が盛んなほか、総合大学なの
で人文社会分野の人材や経験が豊
富。帯畜大は大型動物の研究や実
習が充実しており、これらを共有
することで、学生にとって充実し
た内容にしたい考えだ。

カリキュラムは今後編成する
が、学生・教員が両キャンパスを
行き来したり、テレビ講義をした
りするという。